



3.11 から 10 年 震災を語り継ぐ

10年前の平成23年3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0という未曾有の東日本大震災が発生しました。本日、同時刻に放送による校長講話および全校生による黙祷を行いました。

現在の1年生から3年生は誕生すらしておらず4年生が生まれたころ、5・6年生も記憶にはない東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故。2月末から3月上旬にかけて、全学年が実験や外部講師からお話を聞くなどして実感を伴った放射線教育を行い、子どもたちは福島の現状について学習してきました。本日もリーフレットをもとに災害の状況を振り返り、今なお続く避難者の生活、放射線による風評被害などに思いを寄せ、命を守る大切さや、協働の意義、ふるさと福島の復興を担う一員として成長することについて気持ちを新たにしました。(裏面に知事メッセージを掲載しています。ご覧ください。)



<9日実施した3年生の放射線教育の授業>

○ 全校生からの復興メッセージが大震災発生時刻に海へ



「じろはったんの会」の皆さんが、本日午後2時46分、先日子どもたちが復興への思い等を書いたタイサンボクの葉を海に流しました。本日夕方のNHK「はまなかあいつ」およびTUF「Nスタふくしま」でじろはったんの会の永野泉さんが取材を受け報道されるそうです。ご覧ください。

○ 健太康太さんからサインが届きました。

2月25日にコンサートを行った健太康太さんが、8日の夕方に全校生へのサインを持参してくれました。10年前の3月11日にボランティアで東北を訪れた健太康太さん。「上を向いて歩こう」から「前を向いて歩こう」と歌詞を替えたメッセージをくださいました。本日配付しましたのでご覧いただき、コンサートの様子をお子さんにお聞きいただければと思います。

